

## 2024年度第1回委員会議事録

1. 日 時：2024年4月13日(土) 16:00～17:20
2. 場 所：金沢市文化ホール 3F 第3会議室 と On-line[Zoom]会議
3. 出席者(敬称略)：橋口委員長、康委員、大川委員、岡田委員、柳原委員、中沢委員、村上オブザーバー、萩原副委員長  
欠席者(敬称略)：工藤委員、田畑委員、佐藤委員、菊池オブザーバー

### 4. 配布資料：

- ・ 審議事項、報告事項の資料

### 5. 議事

会議の冒頭、三浦委員が昨年度末で学会員を退会したのに伴い、委員を退任することとなり挨拶をいただいた。

#### 1) 審議事項

##### 1. 第56回大会 国際交流委員会企画について

###### (1) タイ AMTT との MOU の締結について (大川委員)

- ・ 昨年10月、タイの臨床検査技師会(The Association of Medical Technologist of Thailand[AMTT])の学会に参加した際、MOU(Memorandum Of Understanding)を締結したい依頼を受けた。(韓国とは既にMOUを締結している)
- ・ 先方の締結内容は以下の通り。
  - a) 双方の学会のシンポジウムや協議に招聘し合う
  - b) 毎年3名程度を招待する
  - c) 費用は、学会参加費・宿泊費・夕食代を招待側で負担する
  - d) ATMM・JCLS・JACLaSの3団体で締結
- ・ 当方としては、c)は一定額=5万円とする、d)はアカデミア同士の2者で締結する
- ・ 審議の結果、MOUを締結する方向で、以下の条件を先方に連絡するが、それに先立って大川委員から非公式に打診することとした。
  - a) 双方の学会のシンポジウムや協議に招聘し合う
  - b) 毎年1~3名を招待する
  - c) 旅費・宿泊費は出向く側で負担する  
学会参加費・学会懇親会費を招待側で負担する
  - d) ATMM・JCLSの2団体で締結

###### (2) 中国・中華医学会検査医学分科会と上海検査医学会から4名の講演について (橋口委員長)

- ・ 大会中のプログラムの素案

1日目：以下の中国の先生4名の内2名(郭玮氏、李敏氏の予定) +日本人(内容を検討)

2 日目 : JACLaS international award

3 日目 : JCLS 若手技師国際交流シンポジウム+日本人の若手技師 2 名

(海外からの若手技師、MOU 締結に際してタイ AMTT から若手技師をお二人招待する)

1)Xuefeng WANG : 王学锋 氏

Topic\_Innovative practice of thrombus and hemostatic detection

2)Wei GUO : 郭玮 氏

Topic:\_The clinical use of LC-MS

3)Min LI : 李敏 氏

Topic:\_Clostridioides difficile Infection in inflammatory bowel disease

4)Ming GUAN : 关明 氏

Topic:\_Laboratory Diagnosis of malaria using molecular approach

- ・ 1)Xuefeng WANG : 王学锋 氏と 4)Ming GUAN : 关明 氏に、30 分ずつの教育講演を合計 1 時間のプログラム枠でご講演いただく
- ・ 1 日目のシンポジウムは、2)GUO 先生と 3)LI 先生に以下のタイトルで予定  
GUO 先生 : LC-MS の臨床使用  
LI 先生 : 炎症性腸疾患におけるクロストリディオイデス・ディフィシル感染症
- ・ 講演内容に中国の医療や臨床検査の実情紹介の含めた内容で抄録を貰えるようお願いする。  
シンポジウム・教育講演の抄録は、5 月中旬を目途に中沢委員から先方に依頼する。
- ・ 旅費等の費用は先方負担とし、謝金をお渡しする。
- ・ 日本の演者について、LC-MS や炎症性疾患をやっている方、C.diff.の研究をされている東京医科歯科大学の斎藤先生、感染症なら柳原先生などの意見が出され、橋口大会長から改めて相談することとした。

### (3) 3 日目の若手技師シンポジウムについて (橋口委員長)

- ・ タイト MOU を締結するので、タイから 2 名を招聘する。
- ・ 若手の年齢 : 昨年と同様に 40 歳以下とする。
- ・ 日本人の演者 : 分野を限定せず「最前線で研究している若手技師」で選定する。  
岡田先生、大川先生に候補者を選定していただき橋口先生に連絡する。

### 2. ウクライナの医療事情についての講演について (橋口委員長)

- ・ JACLaS を通じてウクライナ大使館に打診。正式に依頼があれば可能。  
大使館職員が日本語で講演可能。
- ・ 高橋理事長に報告・了承を得た上で大使館に依頼する。
- ・ 政治的メッセージが入らないよう依頼する。

### 3. 海外からの一般演題の登録・受付について (橋口委員長)

- ・ 英語の演題募集登録システムの開発が、トラブル発生続きで遅延している。  
更に、現・演題登録システムへの改修(発表者・所属・演題の英語表記追加)でエラーが発生し演題登録開始に支障が生じている。

- ・英語の演題募集登録システムの開発・リリースを断念。本年度は Word ファイルで募集を受け付ける。
- ・海外へのアナウンス方法：現在、繋がりのある先生に紹介し演題登録を要請する。
- ・英語の一般演題の発表形式  
英語セッション／当該分野のセッションに混ぜる／ポスター発表など意見がでた。

## 2) 報告事項

### 1. JACLaS International Award の進捗について（オブザーバー・岡様）

- ・今年から、従来からの Award I・II と同様に学会の正式なプログラムとして認められた。
- ・アセアン諸国、中国に募集案内の通知。
- ・4月1日から応募を開始し4月30日で応募を〆切。
- ・文字数を1,800文字以内としているが、昨年超過する事例があった。  
今年、1,800文字を越えた登録は応募の対象外とする。
- ・5月17日までに国際交流委員会で採点し、合格者の国なども考慮して受賞者を決定する。
- ・高橋理事長の承認を得て、学会誌への投稿（〆切＝5月30日）および応募者に結果を通知。
- ・受賞できなかった方に、昨年同様にポスター発表の場を設ける。
- ・2日目の13時から International Award の発表会、夕方の懇親会で表彰する。

### 2. R6年度の医療技術等国際展開推進事業の申請について（大川委員）

- ・今回、NCGMの国際展開推進事業へ2度目のチャレンジとなる。
- ・昨年は対象先がインドネシアのみだったが、今年はベトナムも含めた。
- ・糖尿病患者が非常に増加している国に、日本の糖尿病に関する機器・試薬や技術を持ち込んで改善に繋げる。
- ・今度の木曜に橋口委員長と大川委員とで、申請に対するNCGMのヒアリングに対応予定。

## 3) その他

### (1) 英語発表に対して日本語のサポートについて

- ・英語が得意でない方へのサポートとして、AIやPowerPointの機能を利用してスライドの日本語化や日本語字幕ができないかJACLaSで議論をお願いしたい。  
→ 学会運営会社と相談して対応を検討する。

### (2) 特別賛助会員への活動報告会の開催について

- ・（委員会終了後であるが）活動報告会を開催する責務があり、開催を計画することとした。

以上  
(記録：萩原)